

会 議 録

会 議 名	令和６年度 第３回福島市男女共同参画審議会
開催日時	令和７年２月２０日(木) 午後２時００分から午後３時１５分
開催場所	福島市男女共同参画センター 大会議室
出席委員	横田智史委員、小澤和枝委員、赤間睦子委員、赤間幸子委員、 旗野礼子委員、樋口和枝委員、前川直哉委員、松原喜憲委員
欠席委員	佐藤久美子委員、高橋丈晴委員、元井貴子委員、山内圭介委員、 横山卓也委員
議 題	審議事項 (１) 男女共同参画に関する意識調査の結果について (２) 新・男女共同参画ふくしまプラン（令和８～１２年度）の策定 スケジュールについて (３) その他 ①福島市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の状況について
市出席者	総務部長：矢吹淳一 総務部次長：本田博進 男女共同参画センター所長：木村佳子

令和6年度 第3回福島市男女共同参画審議会 会議録

日 時：令和7年2月20日（木）午後2時～3時15分

場 所：福島市男女共同参画センター 大会議室

出席者：委員8名（別紙のとおり）

事務局：3名（別紙のとおり）

事務局 開会
横田会長 あいさつ

○審議事項

（1）男女共同参画に関する意識調査の結果について

横田会長 事務局より説明願う

事務局（所長） 資料に基づき説明

【質疑応答】

前川委員 1点目は、意識調査の問25について、人権侵害に関する問の中にセクハラやモラハラと並べて、セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の記載があるが、説明が不足しているように感じるため、次回設問作成の際は、セクシュアル・マイノリティへの差別など、もう少し説明を加えた方がよいと感じた。

2点目は、家事、育児、介護の負担が女性に偏っているという問題について、男性が家事、育児に参加できない理由の一つが働き方であり、子どもが産まれた女性へは、会社からの配慮があるが、男性への配慮はあまりない。そのため、女性のワークライフバランスだけでなく、男性が家事、育児に参加しやすい社会環境を整備していくことも重要である。

樋口委員 意識調査について、想定していたとおりの結果であった。

やはり、家事、育児は女性の方が効率的に行えることもあると思うので、同じことを男性に求めるのは難しいのではないかと感じる。男性も家事、育児を行うためには、小さいころから家事、育児に性別は関係ないという意識を持てるよう教えていくことが必要だと感じた。

また、介護についても、女性が大半を占めているということについて、男性が能力を高める機会があるとよいのではないかと感じた。

松原委員 回収率について、少ないと感じた。また、年代についても回答に偏りがあることから、抽出の方法を検討したほうがよいと感じた。

男性と女性の家事、育児への意識の違いについて、まだ家事、育児に対する考え方に違いがあるように感じた。

会社内の福利厚生等について、男女での差はなくなってきており、学生など若い方の中では、男女関係ないといった考え方が浸透してきていることから、少しずつ社会環境は変わってきているように思う。

旗野委員 1点目は、意識調査等の結果から、やはり幼少期から男女が共同して取り組んでいくことの重要性を伝えていくことが大事であると感じた。
2点目は、働き方、働き方が大事であると感じた。
3点目は、調査結果や職場での話から、やはり子育ては大変であると感じた。
こういったことを皆で意識して取り組んでいくことが、よりよい社会につながっていくのではないかなと思う。

小澤委員 男性は仕事、女性は家事という考え方はいまだに根強いように感じる。しかし、教育や自治体の取組みを通じて、少しずつ男女共同参画の考え方が浸透してきているように感じる。
また、ワークライフバランスという言葉は15年前から使われているが、今現在それが徹底されていないのは、やはり考え方を変えるのは簡単ではないということだと思う。しかし、以前と比べ少しずつ社会環境が変わってきているように思うので、今後も継続して取り組んでいくことが重要であると感じた。

赤間委員（睦）説明を聞いて、たしかに企業等で女性への育児等に対する配慮はあるが、男性への配慮はあまりないと感じた。しかし、男女ともに抜けられてしまうことを考えると、どうしても配慮することが難しい事情もあり、そういったところが矛盾していて難しいと感じる。

赤間委員（幸）女性が育児を行いながら、仕事を並行して行うことは難しいと感じる。また、社会環境が整っていても、育児や介護で休みをとることに引け目を感じてしまう方もいると思う。
介護については、やはり女性の負担が大きいと感じるが、一方で男性が介護をすることも多いように感じる。

横田会長 保育園などの低年児は、男女を分ける意識がないが、どこから男女を分けて考える意識が芽生えてくるのか疑問に感じた。
意識結果において、様々な数値がでていますが、やはり本当に大事なことは夫婦・パートナーの二人が幸せであると感じるかどうかであると思う。なお、様々な数値でまだまだ低い値が多いということは、幸福度は低いのではないかなと感じた。
男性の中でも家事をやりたいという意識を持っている方が増えてきているが、会社等の理解が進んでおらず、仕事を優先せざるを得ない状況であることから、家事、育児に参画する環境がまだ整っていないと感じた。

（２）新・男女共同参画ふくしまプラン（令和８～１２年度）の策定スケジュールについて

横田会長 事務局より説明願う

事務局（所長） 資料に基づき説明

【質疑応答】

なし

(3) その他

①福島市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の状況について

横田会長 事務局より説明願う

事務局（所長）説明

【質疑応答】

小澤委員 申請してから宣誓書受領証等を交付されるまでにどのくらいの期間がかかるのか。

事務局 最短で1週間程度である。

(4) その他

事務局（所長）説明

総務部長 あいさつ

事務局 閉会